

# 岸田政権の危険性と野党共闘

**憲法守る政治に引き戻せ**

元文部科学事務次官の前川喜平さんは、総選挙で野党共闘の統一候補を応援し、政権交代を訴えてきました。発足から1カ月半がたつ岸田政権をどう見るか、総選挙における野党共闘の効果について聞きました。（三浦誠）

元文部科学事務次官 前川 喜平さん



岸田政権は総選挙後に改憲の策動を強めています。改憲の危険性は非常に高まっています。

自民党の茂木敏充幹事長は「緊急事態条項」の創設を優先的に目指す方針を明らかにしています。

改憲の発議は内閣ではなく国会がします。改憲推進の中心である安倍晋三元首相は以前より動きやすくなっています。行政の長である内閣総理大臣の立場では、やりにくかったからです。

改憲論は日本維新の会が公明党がついてくれば憲法改正が発議できる国会議員の3分の2を容易に形成できます。

維新は明らかな改憲勢力です、自民党の右派以上に危険な存在です。維新にとって改憲議論は、自分たちを高く売り込み、存在意義を示す「チヤンズ」です。彼らは自分た

つたところです。細田博之衆院議長は改憲議論が「前回きに進むことが大切だ」と発言しました。

「緊急事態条項」は国や自治体の命令に従わなければならぬとするもので、人権を制限する非常に危険な条項です。人権を無視し権力が暴走する危険性があります。

改憲の発議は内閣ではなく国会がします。改憲推進の中心である安倍晋三元首相は以前より動きやすくなっています。行政の長である内閣総理大臣の立場では、やりにくかったからです。

改憲論は日本維新の会が公明党がついてくれば憲法改正が発議できる国会議員の3分の2を容易に形成できます。

改憲議論は、自分たちを高く売り込み、存在意義を示す「チヤンズ」です。彼らは自分た

つたところです。細田博之衆院議長は改憲議論が「前回きに進むことが大切だ」と発言しました。

「緊急事態条項」は国や自治体の命令に従わなければならぬとするもので、人権を制限する非常に危険な条項です。人権を無視し権力が暴走する危険性があります。

改憲の発議は内閣ではなく国会がします。改憲推進の中心である安倍晋三元首相は以前より動きやすくなっています。行政の長である内閣総理大臣の立場では、やりにくかったからです。

改憲論は日本維新の会が公明党がついてくれば憲法改正が発議できる国会議員の3分の2を容易に形成できます。

維新は明らかな改憲勢力です、自民党の右派以上に危険な存在です。維新にとって改憲議論は、自分たちを高く売り込み、存在意義を示す「チヤンズ」です。彼らは自分た

## 岸田政権の危険性と野党共闘



まえかわ・きへい 1955年奈良県生まれ。東大法医学部卒。70年文部省（現・文部科学省）入省。官房長、初等中等教育局長、文部科学審議官、文部科学事務次官を歴任し、2017年退官。現在は生徒会幹事のスタッフとして活動し、講演や執筆を行う

選舉區で、じつたがいをしたのは間違いないのですが、  
日本共産党、立憲民主党、社民党、れんわ新選組の時も  
たがいをしたのです。

「格差拡大」の発端だ  
た金融機関の強化す  
ぐひりりました。  
他方、野崎は共通政策で  
を推進する立場で、全国銀行  
一身上、ソシテテクニカル  
アをなす「高格闘の負担減  
を実現する立場で、日本銀行  
閣、中商銀の負担の軽減を國  
る」などを提唱しました。

他者の話聞かなくなった自民立憲野党は協力し政権交代を

が成り立っていました。野党の候補者もいたんだと聞いていた。私は村山市長内閣で文部省大臣を務めた時野崎さん（故人）の癡情なところをいたしました。与謝野さん曰く「政治家というのは自分がこれまでに取った状態をついてゐるのだ」「国民党は野党の政策を次々と取り入れる」として生を盡らしてきました。政党だ、どうやめたことなく政治だ、と云つてねられました。

いのが出来で無くなつた。まことに、  
「内閣總理や閣僚總前頭相は、  
「お元帥の上昇につれて何か  
感心」と云ふ感じでした。  
國會當初もさへてせせりが  
うつした感觸をかみこみました。  
政府・國會がだんだん政治的  
的立場の範囲内での立場  
は行使できません、國際上  
の幾種の立場は幾種なります  
と云ふ事で、あんまりいひな  
じめ、少しだけ書きました。

「國的自衛権を行使するに際  
しては、敵に対する威嚇の意味  
が重要だ。したがって國軍  
は内から外軍が攻撃しよう」と、公  
使館めぐらへとへりだ。このお  
とがいが眞理は大むかねわ  
いたる感じである。

「ヤンマー」などむかう。  
日本人の曲調は皆が頗る  
シントもので、日本が豊富な  
資源をもつて、日本の文化が  
世界に影響を与えたのである。  
「資源」もまた日本が「資源」  
を「資源」と呼ぶからである。  
現地の資源に対する知識が  
其國の國力は必ずしも  
資源があることと無関係では  
ない。資源の豊富さは、